



青森河川国道ニュース



リンゴを見たら交通安全!

国道7号と東北自動車道大鰐弘前ICの交差点付近にある植樹帯のリンゴの樹は、昭和54年バイパス開通の際に、記念に植樹されたもので、現在は「ふじ」「王林」「北斗」の3種、計6本を弘前国道維持出張所が管理しています。

6月～7月には実すぐり(摘果)と袋かけ作業を実施しており、大きくて美味しいリンゴを大事に育て、秋の収穫時は近隣の保育園にご協力いただき、収穫したリンゴを配りながら、ドライバーの皆様へ交通安全の呼び掛け運動を行っています。

▼弘前市大字石川字平岡石川バイパス交差点▼



美味しくて大きなリンゴになるように



実すぐり(摘果)作業

実すぐり(摘果)作業(写真左)を行うと、実に栄養がたっぷり行きわたり、大きくておいしいリンゴが育ちます。また薬剤散布(写真下)は交通量の少ない早朝に実施します。



防除作業

袋かけ作業(写真下)は、害虫を防ぎ着色を良くするために、有袋のリンゴは貯蔵性に優れています。



収穫後は国道7号・大鰐弘前IC交差点付近で、地元の園児から交通安全リンゴと冬タイヤ交換チラシの配布を行っています。(写真下)



袋かけ作業



H28年度の様子(例年10月頃実施)